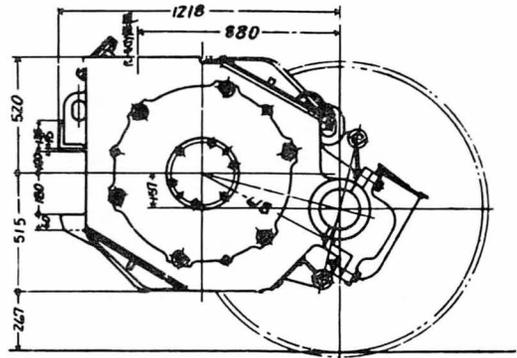
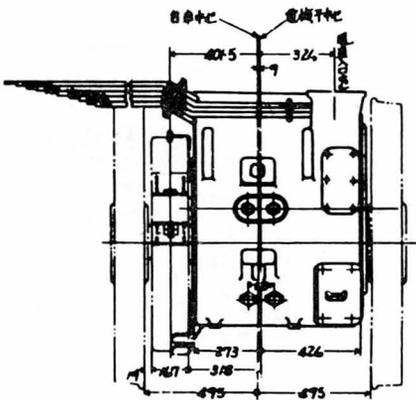
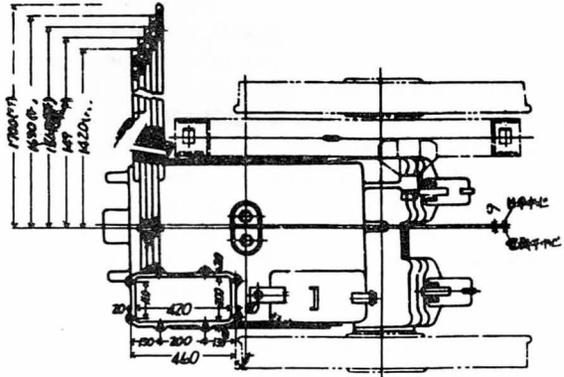
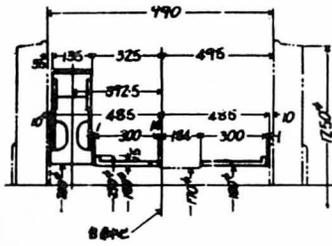
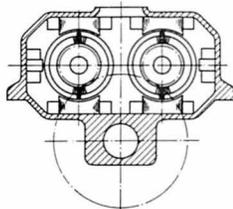


3. MT42形主電動機外形

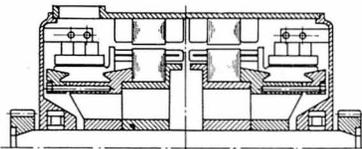


4. 双子電動機



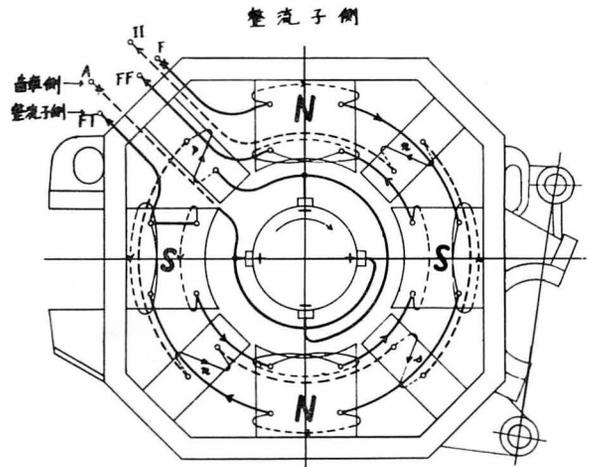
6. MT41 直直直巻電動機つなぎ

5. タンデム電動機



て成層してある。これは交番磁束によって生ずる渦流(かりゅう)損失を少なくするためである ② 主磁極の極面にもみぞを設けて補償コイルを設ける。交流整流子電動機では主界磁を弱くして、電機子コイルの巻線を多くするが、電機子の起磁力が大で力率が低下するので、電機子の起磁力を完全に打消すように補償コイルを設ける ③ 補償コイルに無誘導の分路抵抗器がつないであるものがある。

これは主界磁コイルを1次、電機子コイルを2次とする変圧器作用によって電機子コイルに変圧器起電力が生じ、これが整流を悪くする原因となるから、これを打消すために設けてあり、この抵抗値を主幹制御器との連動で切りかえることにより、広範囲にわたって整流を改善することができる ④ 磁気回路の磁束密度と磁極面のすきまを小さくしてある ⑤ 電機子導体の数を直直直巻電動機にくらべて多くしてある ⑥ 電機子コイルと整流子との間に抵抗口出線がさしこんであるものがある。これは電機子コイル内の短絡電流を制限するためのものである ⑦ 直直直巻電動機とくらべて一般に電動機の定格電圧は低く、定格電流は大である。直直直巻電動機では 300~570V のもの



が多く電流も数百アンペア程度であるが、交流整流子電動機では電圧は 200~300V 程度のものが多く、電流は数千アンペアに達するものがある。このように電圧を低くするのは、整流子片間電圧を低くして整流を良くするためである ⑧ 整流子の長さが長くブラシ接触面を広くしてある。これは電流が大きいために必要となる ⑨ 電動機の外形は直直直巻電動機とくらべてかさばるが重量は多少軽くなる。

交流整流子電動機は使用する周波数が高い程その製作が困難